



Fore Please /
世界ゴルフ

識聞録

ゴルフビジネスのプロが30年以上回って見て聞いて感じた世界のゴルフ文化をお伝えする当連載。第19回はR&Aの女性メンバーについてのお話です。

R&Aの女性メンバーに オーガスタで初めて会う。

ゴルフの新時代を告げるジョーダン・スピースの記録的な勝利で沸いたオーガスタでは、3年前に女性初のメンバーとなったライス元米国務長官がお似合いのグリーンジャケットで我々を迎えてくれましたが、R&Aの女性メンバーの方にオーガスタでお会いするのはこれまででなかったことでした。

R&Aが女性会員に門戸を開いて日が浅いですが、このほどメンバーになった旧知のレディ・アンジェラ・ボナラックさんとお話しする機会に恵まれました。レディ・アンジェラさんのご主人はゴルフの殿堂にも入っているサー・ミカエル・ボナラックさん。サー・ミカエルさんは当時イギリスのトップアマでもあり、マスタートーズや全英オープンでも活躍した後にR&Aのセクレタリー（代表者）を99年まで務めたり、現在はワールドランキングの会長をされている方です。ゴルフを通じて英国に貢献したことでOBE（大英帝国勲章）を1971年に受勲されていますが、奥様もアマチュアゴルファーとして活躍している本当のゴルフの専門一家です。

そのアンジェラさん、いやレディ・アンジェラは、ご主人の関係でR&Aとはメンバーだけでなく役員の方との交友も長いのですが、ご主人がセクレタリーをされていた頃は、R&Aの内部には女性の立ち入りも禁止されていたそう、女性ゴルファーの立場の変化を身をもって実感されているとのこと。私が最初にR&Aに行った時にも入り口でMember Onlyの洗礼を受けた話も共有しました。一部の限られた方のためではなく、世界中のプレーヤーがゴルフを楽しめるようにR&Aが動き出したところなのです。

R&Aの女性メンバーを 蔑むプレスもいた。

R&Aの名前のとおり、王室を意味するロイヤルと伝統や古い事を意味するエンシェントの名前を持つクラブだけに、英国王室の方のみならず世界各国の皇族の方も名誉メンバーになっています。今回の女性メンバーでオナラリー（名誉）メンバーとして選ばれた中には女子ゴルフで当時最強だったアニカ・ソレンスタムやイギリスのローラ・デビスだけではなく、プリンセ

Vol.19

R&Aの
女性メンバー

R&A改革を 支える 変革の旗振り役



AS



スロイヤルこと、アン王女もメンバーとなりました。オナラリーメンバー以外ではレディ・アンジェラをはじめとする7名が女性メンバーとして迎えられました。

英国の口の悪いプレスは今回誕生したR&Aの女性メンバーのことを「皇族と年寄りの集まり」と蔑んでいましたが、レディ・アンジェラはそれを冗談でかわすほどの余裕たっぷり。英国には女性がメンバーにならないゴルフ場がまだまだ多くあるようですが、これからその壁を取り除くべく活躍していかれるとか。彼女のお嬢さまもお孫さんもゴルフがお上手だそうです、3世代の腕前では無敵のボナラック家。変革の旗振り役となっていくのでしょうか。

ゴルフビジネスの プロフェッショナル 神野方仁（じんの・みちひと）



1956年生まれ。テレ・プランニング・インターナショナル株式会社・代表取締役社長。国内外のさまざまなスポーツビジネスに関わり、中でもゴルフはマスターズのようなメジャー大会からジュニアゴルフに至るまで、イベント、放送、広告、マーケティングなどの面に長年携わっている。日記を公開中 Fast Track Michi's Diary/www.tpi-j.co.jp/diary/index.html

イラスト／ソリマチアキラ